

第2回烏川・神流川流域治水協議会 議事概要

1. 日時:令和2年9月16日(水)15:00~15:25

2. 開催方法:Web 会議

3. 出席者:協議会構成員

高崎市長 富岡 賢治 (代理:土木課長 牧野 宏之)

藤岡市長 新井 雅博 (代理:土木課長 高橋 勝)

玉村町長 石川 眞男 (代理:副町長 古橋 勉)

神川町長 山崎 正弘 (代理:建設課長 福嶋 晃)

上里町長 山下 博一 (代理:まち整備課長 相馬 伸太郎)

群馬県 県土整備部 河川課長 西澤 洋行 (代理:次長 米山 智雄)

群馬県 県土整備部 下水環境課 下田 美里 (代理:係長 成澤 篤史)

埼玉県 県土整備部 参事兼河川砂防課長 林 雄一郎 (代理:副課長 武田 敦弘)

埼玉県 県土整備部 下水道事業課長 若公 崇敏 (代理:主査 堀内 友貴)

国土交通省関東地方整備局 高崎河川国道事務所長 福井 貴規

4. 確認等事項

- ・「烏川・神流川流域治水協議会」規約(改正案)について確認し、了承が得られた。
- ・流域治水プロジェクト【中間とりまとめ(案)】について、事務局より説明した。
- ・今後の進め方について説明した。

5. 出席者の主な発言

【ご意見1】資料2について、流域図の神流川流域(赤色)下部の白色部は何か。

【事務局】烏川の流域を黒線で示したものに、群馬県の神流川圏域河川整備計画の範囲を赤く着色したものである。白色部も当プロジェクトにおける流域であると考えている。

【ご意見2】国は河道掘削を行っているようだが、鎚川は行わないのか。

【事務局】現状では、鎚川の河道掘削の計画はない。

【ご意見3】鎚川、鮎川も土砂が堆積し河床が上がってきていると見受けられるが、上流だけ河道掘削しても意味がないのではないか。

【群馬県より】現在、鎚川と鮎川の合流点の調査のとりまとめ中であり、土砂の堆積は少ないという判断をしている。10月当初に最終的な結論が出る予定である。

【ご意見4】神流川と烏川の合流点付近の国有地については、国で樹木伐採をしていただいた。民有地についても樹木伐採を積極的に行ってほしい。

【事務局】昨年、国有地を中心に3ヶ年の緊急対策で樹木伐採を行った。民有地は、地権者の特定にも時間がかかるが、そういった要望も踏まえて検討していきたい。